
東日本大震災 医療支援 「こころのケアチーム」 第32班 活動報告

派遣期間: 10月11日(火)～10月14日(金)

櫻井 秀樹(医師)

樋田 香織(看護師)

藤田 さかえ(臨床心理士)

牧 賢樹(専門職)

第32班 活動の概要

1. ケースや業務の引継ぎ
2. 地域の支援力への働きかけ
3. こころの相談室の継続



活動経過 第1日目

10月12日(火)

- 移動:東京(10時発)～水沢江刺(13時半着)～大船渡
- 16:00-17:30 於:合同庁舎 県の保健師より「こころの相談室」業務の引継ぎ。
10月から新たに災害担当となった精神科の千葉Drが今後参加される事が決定する。
- 復興状況について大船渡～陸前高田を視察

活動経過 第2日目

10月13日(水)

[午 前]

- 市保健師チームとのケースに関する打ち合わせ(意見交換を通してのコンサルテーション)
- 継続ケースの訪問 2件

[午 後]

- 継続ケースの訪問 2件
- 定例のミーティングに参加、入院が必要なケースについて千葉Drと相談する

活動経過 第3日目

10月14日(木)

[午前]

- 継続ケースの訪問 1件、仮設を訪問し相談1件

[午後]

- 合同庁舎にて「こころの相談室」3件

活動経過 第4日目

10月15日(金)

[午前]

- 継続ケースの訪問 1件
- 鳥沢仮設住宅訪問し、「こころの相談室」を紹介



第32班の活動にあたって

■ 処方について

今回の派遣でも前チームから引き続き、当院の処方箋は極力使用しないようにした。

こころの相談室では数件の処方にとどめた。



全体として、陸前高田ではがれきの撤去や漁業の再開など徐々に復興が進んでだ印象を受けた。だが、陸に乗り上げた漁船は撤去される様子もなく残っている。(2011年10月13日撮影)

